

## IT Topics & News

### 「2017年 IT経営に関する調査」 「企業IT動向調査2018」を発表 【JEITA】 【JUAS】

1月15日、一般社団法人電子情報技術産業協会（略称＝JEITA）は、2017年国内企業の「IT経営」に関する調査結果を発表した。この調査は2013年より始まった「ITを活用した経営に対する日米企業の相違分析」に続くもので、日本企業の経営者、及び非IT部門（事業部、営業、マーケティング、経営企画）を対象にアンケートを実施し、333社から回答を得た。

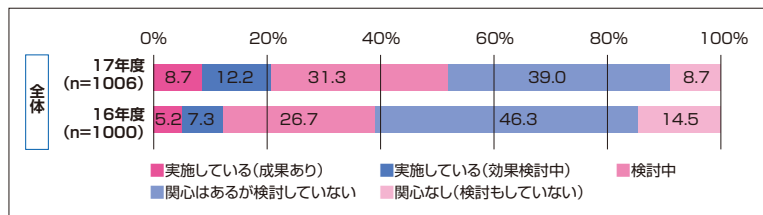
アンケートの結果によれば、企業におけるIT投資の重要性において「極めて重要」と考える企業が26%に上り、2013年の16%と比べて約1.6倍に増加。IT予算についても「増える傾向」と回答した企業が52%と初めて過半数を超え、用途は「ITによる業務効率化／コスト削減」が1位となっている。一方で、「新たな技術／製品／サービス利用」は1.2%から27.6%に、「ITを活用したビジネスモデル変革」が12.9%から21.3%へと大きく増加している。2013年の調査で「IT投資が極めて重要」との回答が75%に達したアメリカ企業のレベルには至らないものの、日本企業でも「守りのIT投資」から「攻めのIT投資」へのシフトの兆しが見受けられる結果となった。

また、1月25日から三回にわたり一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（略称＝JUAS）が「企業IT動向調査2018」（速

報値）を発表している。この調査では、2018年度の利用者各社（東証一部上場企業など705社）のIT投資予算予測は、全体の40.7%が前年度比で「増加」、45.5%が「不変」となっており、「増加」－「減少」で示すDI（デフュージョン・インデックス）は、2017年度の17.7ポイントを大きく上回る27.0ポイントとなり、過去10年で最も高い数値となっている。

「ビジネスのデジタル化」（2017年度）に関しては、全体（同1006社）のうち、「実施している」が20.9%、「検討中」が31.3%で、半数以上が実施または検討中であることが分かった（図）。規模別では売上高1兆円以上の大企業では「実施している」が71.7%にも達した。業種別で取り組みが最も進んでいるのは「金融」グループで、前回調査に比べて「実施している」が増加し「検討中」が減少。検討から実施段階へと着実に進行していることを示した。代表的な取り組みテーマとしては、製造業では「生産管理の高度化」、非製造業では「新ビジネス・サービス・商品化」が最も高くなった。

（図）売上高別ビジネスのデジタル化の検討状況（全体）



出典：一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

OKI

Open up your dreams

### くらしのそばに、OKI。

ICTの活用により、社会インフラもますます高度化する時代。ITS関連システムや消防・防災システム、ATM、交通機関のチケット発券システムやチェックインシステム、さらには世界をつなぐ通信、金融システムなど、さまざまな公共システムを、OKIはICT技術とモノづくりで支えています。世界の人々に安心をお届けすることを使命とし、これからもより豊かなくらしの実現に貢献していきます。

OKI [www.oki.com/jp/](http://www.oki.com/jp/)